

アジア政経学会2022年度春季大会の御案内

アジア政経学会会員各位

2022年春季大会は、6月11日（土）・12日（日）に同志社大学の協力・後援により実施いたします。新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、開催形態は全面オンラインとなります。オンライン実施に伴い御不便をお感じになられる会員もいらっしゃると思いますが、非常時に大会を実施するための緊急措置への御理解と御協力のほどなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

研究企画担当理事・研究企画委員（五十音順）

<研究企画担当理事>

阿南友亮（東北大学）、鈴木絢女（同志社大学・開催校）、中溝和弥（京都大学）

<研究企画委員>

浅野豊美（早稲田大学）、佐藤隆広（神戸大学）

<後援>

同志社大学

・大会に関する問い合わせ先

e-mail: jaas-spring <at> npo-ochanomizu.org（<at> を@に変更のうえ、ご送信ください）

・オンライン大会への参加について

オンライン大会参加に必要なオンライン会議用ソフトウェア（**Webex Meetings**）、大会参加の手順、事前オンライン接続テスト、託児補助金などに関する御案内は、「大会参加方法」のページから御覧になれます。また、会員にはメールもしくは郵送で大会参加に関する詳しい情報をお送りいたしましたので、そちらも御確認ください。

・大会専用サイトと接続テストへのリンク

自由論題・自由応募分科会・総会にアクセスしていただく大会専用サイトのリンク、ならびに6月6日（月）、7日（火）に行われる大会前の接続テストへのリンクです。なお、リンク一覧へのアクセスには、4月27日および6月3日に学会メーリングリストでお知らせした論文ダウンロードのためのIDとパスワードが必要です。メーリングリストに登録されていない会員には、郵送でIDとパスワードをご案内しております。

・報告要旨とフルペーパーのダウンロード

報告要旨やフルペーパーは、学会のホームページ（大会プログラム）から6月1日（水）以降ダウンロード可能となる予定です。ペーパーの閲覧には、4月27日および6月3日に学会メーリングリストでお知らせしたIDとパスワードが必要です。メーリングリストに登録されていない会員には、郵送でIDとパスワードをご案内しております。

・緊急情報掲示板

オンライン大会専用サイト全体に障害が生じるなどの緊急事態の場合には、下の掲示板で状況と対応についてご説明いたします。

<大会のスケジュール>

6月11日（土）

10:00 – 12:00 自由論題1-3

12:00 – 13:30 昼休み（理事会、評議員会）

13:30 – 15:30 自由論題4-6

15:40 – 18:10 共通論題

< 2022年度春季大会プログラム >

6月11日（土）10:00-12:00 自由論題1-3

自由論題1. 東南アジア経済

司 会：清水一史（九州大学）

発表1：小西鉄（福岡女子大学）

「インドネシアにおける経済改革と国有企業—「抑制された国家資本主義」論の批判的検討—」

発表2：吉野文雄（拓殖大学）

「ASEAN財政統合」

討論：林田秀樹（同志社大学）、石川幸一（亜細亜大学）

自由論題2. マイノリティーとジェンダー

司 会：田村慶子（北九州市立大学）

発表者1：山本明日香（九州大学）

「インドにおける宗教間賃金格差の要因分解：1983-2019年」

発表者2：丸山実紗（拓殖大学大学院）

「ミンダナオ島におけるイスラーム女性の社会進出」

討論：和田一哉（金沢大学）、日下渉（東京外国語大学）

自由論題3. 中国政治

司 会：岩谷將（北海道大学）

発表者1：菊地秀樹（東北大学大学院）

「中国国民党による戦時動員と地域社会：江南地域における忠義救国軍を中心として」

発表者2：高橋知子（東京大学大学院）

「パワーと信頼の追求：国連の安全保障関係決議を提案する中国の事例から」

討論：岩谷將（北海道大学）、益尾知佐子（九州大学）

12:00-13:30 昼休み（理事会・評議員会）

13:30-15:30 自由論題4-6

自由論題4. 東南アジアの政治と社会

司 会：小井川広志（関西大学）

発表者1：増原綾子（亜細亜大学）、ミヤ・ドゥイ・ロスティカ（大東文化大学）

「パンデミックの中のインドネシア社会：ジャワ、バリ、西スマトラ、東ヌサトゥンガラ
のインタビュー調査の結果から」

発表者2：グアニエ・リム（政策研究大学院大学）、山口健介（東京大学）

“Revisiting the Dutch Disease: Rent-Seeking, Politics, and Resource-Based
Development in Malaysia”

討論：水野広祐（インドネシア大学）、小井川広志（関西大学）

自由論題5. アジアの金融

司 会：梶谷懐（神戸大学）

発表者1：伊夢瑛（一橋大学大学院）

「デジタル人民元の戦略的意義」

発表者2：相場大樹（国際協力機構 緒方貞子平和開発研究所）

「マイクロファイナンス機関の買収とその貸出行動への影響：カンボジアでの事例」

討論：丸川知雄（東京大学）、藤森梓（大阪成蹊大学）

自由論題6. アジアにおける外交・軍事政策

司会：玉置敦彦（中央大学）

発表者1：向田公輝（京都大学大学院）

「軍事政権と和平外交：ムッシュアラフ軍事政権期（1999～2008）パキスタンにおける対インド外交路線転換の検証

発表者2：相田守輝（筑波大学大学院）

「2021年8月17日における中国の軍事行動：アリソンの分析モデルからの解釈」

討論：伊藤融（防衛大学）、阿南友亮（東北大学）

15：40－18：10 共通論題「ミャンマー政変と東アジア地域秩序」

司会：大矢根聡（同志社大学）

発表者1：中西嘉宏（京都大学）

「危機によるミャンマーの脆弱国家化—政変と混迷を生んだ国際的要因の検討—」

発表者2：廣野美和（立命館大学）

「中国による政変後ミャンマーへの関与：不介入原則への意味合い」

発表者3：鈴木早苗（東京大学）

「ASEANのミャンマーへの関与とその変化」

討論者1. 大矢根聡（同志社大学）

討論者2. 伊豆山真理（防衛研究所）

18：10－ 会員総会、アジア政経学会優秀論文賞授賞式

6月12日(日)

10：00－12：00

自由応募分科会1 「習近平政権10年の対台湾政策」

司会：江藤名保子（学習院大学）

発表者1：小笠原欣幸（東京外国語大学）

「習近平の台湾認識と統一促進政策」

発表者2：川上桃子（アジア経済研究所）

「習近平政権の経済を通じた台湾統一政策：行きづまりの背景」

討論者1. 江藤名保子（学習院大学）

討論者2. 鈴木隆（愛知県立大学）

自由論題7. アジアにおける国際経済

司会：三重野文晴（京都大学）

発表者1：松下奈美子（名古屋産業大学）

「中国、韓国へ移動した日本人技術者の国際労働移動に関する考察」

発表者2：劉澤文（九州大学大学院）

「2010年代におけるカンボジアの中国向けのキャッサバ輸出の拡大に関する考察」

討論者：佐藤由利子（東京工業大学）、張馨元（横浜国立大学）

2021年度春季大会リンク一覧・プログラムご案内

2021年度春季大会に関連するリンク一覧（共通論題除く）とプログラムをはじめ、必要な情報はすべてこのページに掲載されています。（IDとパスワードは、会員向けのメール送信か書面郵送にて通知されています。）

◆アジア政経学会2021年度春季大会 オンライン会議用ソフト「Webex」使用マニュアルおよび接続リハーサルのリンク

マニュアル：PDF

リハーサル用リンク：接続リハーサルの日程は、下記の通りです。

6月10日（木） 9：00－18：00

6月16日（水） 9：00－18：00

※初めてお使いになる方は、必ずマニュアルをご一読の上、ソフトのダウンロードと接続リハーサルを行ってください。（ともに論文ダウンロードと同じIDおよびパスワードをお使いください）

◆アジア政経学会2021年度春季大会 共通論題について

6月19日午後の共通論題：「台頭する中国の『周辺』で何が起きているか？－モンゴル、ウズベキスタン、ラオスからの報告」は、非会員にも公開されます。ただし、視聴のために事前に登録が必要になります。会員でも非会員でも必ず下記の登録フォームで6月16日（水）昼12：00までにご登録ください。ふるってご参加ください。また非会員の方へのご案内も歓迎します。定員に達したところで締め切らせていただきます。

※共通論題の視聴用リンクは、6月17日に事前登録済みの参加者にメール送信します。

※自由論題・自由応募分科会と同じ手順でミーティングに参加することができます。なお、共通論題終了後、ただちに共通論題と同じミーティング・ルームで会員総会および優秀論文賞授賞式を行います。

◆アジア政経学会2021年度春季大会 分科会・自由論題会場リンク一覧

大会当日、必ず上記のリンクをクリックして分科会・自由論題の会場にアクセスしてください。

※アクセスできない時は、いったん退出してから接続し直す、いったんパソコンなどを再起動してから接続し直す、などの方法が有効なことがあります。Wi-Fiがきちんと作動しているかもご確認ください。どうしてもアクセスできないなどの場合は、創文印刷工業株式会社 鈴木様にメールで連絡してください。

※自由論題③にアクセスできない場合は、当日下記メールまでご連絡ください。

ただし、会員個人のネット環境（Wi-FiおよびPC等デバイスの環境）に起因するトラブルに関しては、業者でも対応ができません。できるだけ事前に接続テストにご参加いただき、ご自分でトラブル回避のためご尽力ください。また、トラブルを解決できない場合があります。ご諒解いただけますようお願い申し上げます。

※システムが正常に作動しているか、全体がダウンしていないかなどの状況は、「2021年アジア政経学会春季大会緊急情報掲示板」で確認することができます。

アジア政経学会2021年度春季大会 会議の進め方

登壇者の方は最低10分前に会議に接続してください。

司会の方は主催者である創文印刷工業株式会社の鈴木様から共同主催者（共同ホスト）の権限をもらえます。共同主催者は、参加者全員を強制ミュートにしたり、不審者を排除したりする権限があります。司会の方には、雑音やハウリングを防ぐために、全員にミュートを呼びかけたり、全員を強制ミュートにしたりすることを推奨します。これはあくまでも雑音対策です。いったん強制ミュートにしても、発言の際にミュートを外して発言することができます。

視聴者の皆様は、質問をチャットで送ってください。ただし、司会者の判断により音声で討論をすすめることは妨げません。

なお、会議室は、午前中と午後を続けて使いますので、午後の場合、午前中の質問がチャットに残っています。

午後のセッションを開始する際に、司会の方は、チャットに「★★★これ以降が午後の自由応募分科会★の質問になります★★★」等と書いてください。境目がわかりやすくなります。

◆2021年アジア政経学会春季大会 緊急情報掲示板

この掲示板（noteで運用）は、オンラインで実施している春季大会の各分科会の状況（正常に運行しているのか、落ちてしまっているのか）をリアルタイムで共有するために設けました。

全く会議が進行できなくなるなどの深刻な事態が発生し、予備の会議室を使うような事態にいたった場合、この掲示板にその旨を掲載し、予備会議室用のリンクをお示しします。

Webexでの全面オンライン開催でご不便をおかけしますが、是非関連のマニュアル・ご案内を熟読して、早めの接続を心がけてください。何らかの不手際があるかもしれませんが、リアルタイムでの対応は現実には極めて困難です。ご理解のほどなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

以上
アジア政経学会オンライン春季大会実行委員会
2021年6月8日

書店コーナー

日中商事様より

中国の専門書籍から雑誌・新聞までどこよりも早く、安価でお届け!!

東方書店様より

東方書店 中国・本の情報館

*以下のプログラムの司会者、報告者、討論者には変更あるいは追加が生じる場合があります。

6月19日（土）

- 10:00 – 12:00 自由応募分科会・自由論題
- 12:00 – 13:30 昼休み／理事会・評議員会
- 13:30 – 15:30 自由応募分科会・自由論題
- 15:30 – 18:00 共通論題
- 18:00 – 19:00 会員総会、アジア政経学会優秀論文賞授賞式

6月20日（日）

- 10:00 – 12:00 自由応募分科会・自由論題

6月19日（土）

【午前】 10:00-12:00

自由応募分科会1「RCEPと東アジア経済統合」

司会：清水一史（九州大学）

報告1：清水一史（九州大学）

「RCEPと東アジア経済統合：世界経済の変化の中で」

報告2：石川幸一（亜細亜大学）

「RCEPの意義と課題」

報告3：助川成也（国土舘大学）

「RCEPと在ASEAN日系企業への影響」

討論：福永佳史（経済産業省）

自由論題1「中国の政治と政策決定」

司会兼討論：川島真（東京大学）

報告1：関日昇（慶應義塾大学・院）

「終戦後の北満農村における地方勢力と政党：黒龍江省樺南県における実地調査を基に」

報告2：王淇（杏林大学・院）

「中国政府における政策実施と情報システムについて：垂直方向の情報伝達・フィードバックを中心に」

報告3：鄭成（早稲田大学）

「建国初期中国の社会主義プロパガンダについての一考察：政治性と芸術性の狭間にある映画人」

討論：川島真（東京大学）、諏訪一幸（静岡県立大学）

自由論題2「アジアのマイクロファイナンス」

司会：三重野文晴（京都大学）

報告1：相場大樹（JICA緒方貞子平和開発研究所）

「マイクロファイナンスローンの金利の決定要因：カンボジアにおける金利上限規制の事例に基づく分析」

報告2：上原健太郎（京都大学）

「ブルネイにおけるイスラーム型マイクロファイナンスの使用実態：動産担保貸付を事例に」

討論：矢野剛（京都大学）、齋藤純（アジア経済研究所）

【午後】 13:30-15:30

自由応募分科会2「アジア、アフリカと中東の越境水関係における国内および地域的な側面の考察」

司会：アインスウヤル楨林（同志社大学）

報告1：ダルビッシュホサム（アジア経済研究所）

「ナイル川流域の水文政治をめぐるエジプトとスーダンの関係のダイナミクス」

報告2：アインスウヤル楨林（同志社大学）

「メコン川の越境水問題に対する地域協力」

報告3：Marwa DAUDY（ジョージタウン大学）

「戦争の戦略としての水—シリア紛争からの洞察」

討論：今井宏平（アジア経済研究所）、ケオラ・スックニラン（アジア経済研究所）

自由論題3「アジアの職業訓練」

司会：澤田ゆかり（東京外国語大学）

報告1：松下奈美子（名古屋産業大学）

「2000年代の韓国の若年失業・未就業問題と海外就労支援政策」

報告2：王維亭（千葉大学）

「事例研究からみる現代中国における中等職業学校の変遷とその要因」

討論：金炫成（中京大学）、嶋亜弥子（大東文化大学東洋研究所）

自由論題4「コロナ禍の変容」

司会：川村晃一（アジア経済研究所）

報告1：増原綾子（亜細亜大学）ミヤ・ドウイ・ロスティカ（大東文化大学）

「コロナ禍のインドネシア社会への影響：ジャワ・バリにおけるインタビュー調査の結果から」

報告2：張兵（山梨県立大学）

「ポストコロナに向けた中国の観光政策の転換について」

討論：森下明子（立命館大学）、加治宏基（愛知大学）

自由論題5「アイデンティティと民主化」

司会兼討論：石塚迅（山梨大学）

報告1：萩原隆太（一橋大学・院）

「香港における『愛国者治港』の浸透：公職への立候補および就任をめぐる」

報告2：黄哲（東京大学・院）

「若者と中国の政治秩序（1962-1966）」

討論：石塚迅（山梨大学）、角崎信也（早稲田大学）

【午後】15:30-18:00

共通論題「台頭する中国の『周辺』で何が起きているか？——モンゴル、ウズベキスタン、ラオスからの報告」

司会：磯部靖（慶應義塾大学）

報告1：オユンバートル・ムンヘジン（Mongolian Scientific and Research Institute for National Freedom）

「体制転換以降における中国・モンゴル関係」

報告2：バヒリディノフ・マンスール（一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団代表理事）

「歴史的文脈から見たウズベキスタン共和国と中国の二国間および多面的経済連携の法的諸側面について」

報告3：ケオラ・スックニラン（日本貿易振興機構・アジア経済研究所）

「一帯一路とラオスの経済関係多角化の悲願」

討論：益尾知佐子（九州大学）、熊倉潤（法政大学）

6月20日（日）

【午前】10:00-12:00

自由応募分科会3「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行下における北朝鮮国内外の経済と社会」

司会：塚本壮一（桜美林大学）

報告1：李愛俐娥（早稲田大学）

「国連制裁後と新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による国境閉鎖後のロシア沿海州地方の北朝鮮労働者の現況」

報告2：三村光弘（環日本海経済研究所）

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行下における朝鮮民主主義人民共和国の対外経済関係の展望」

報告3：宮塚寿美子（國學院大學栃木短期大学）

「北朝鮮の『たばこ統制法』と『禁煙法』の考察」

討論：福原裕二（島根県立大学）、堀田幸裕（霞山会）

自由論題6「農村の家計行動」

司会兼討論：竇劔久俊（関西学院大学）

報告1：葉青（東洋大学・院）

「農業市場経済化と農業賃金所得が農村家計の全所得に与える影響：CFPS家計調査を通じて」

報告2：和田一哉（金沢大学）

「農業、土地市場、人口移動：インド農村家計パネルデータの実証分析」

討論：竇劔久俊（関西学院大学）、伊藤成朗（アジア経済研究所）

自由論題7「GVCの経済学と政治学」

司会兼討論：渡邊真理子（学習院大学）

報告1：日置史郎（東北大学）

「国際価値連鎖、イノベーションシステム、イノベーション成果：中国携帯電話産業の事例から」

報告2：孔徳毅（東洋大学）

「RCAを用いた中国における工業貿易構造分析—中間財輸入を考慮して」

報告3：ハン・アラン（東京大学・院）

「安倍内閣下での日本対外通商政策決定過程の転換：何が日本のTPP交渉主導をもたらしたのか」

討論：大泉啓一郎（亜細亜大学）、大庭三枝（神奈川大学）

2020年度アジア政経学会春季大会のご案内（ウェブでの書面開催）

アジア政経学会会員各位

2020年度春季大会は、新型コロナウイルス肺炎の流行に鑑み、2020年春季大会は従来のような現地開催方式ではなく、**Web上での書面開催のみ**とします。したがって、予定されていた東京外国語大学でのセッションは一切ありません。

自由論題および自由応募分科会の詳しい実施手順は「2020年アジア政経学会春季大会開催方法の変更」をご参照ください。

■大会に関する問い合わせ先

アジア政経学会研究企画委員会

青山瑠妙（早稲田大学） 渡邊真理子（学習院大学）

e-mail: jaas-spring <at> npo-ochanomizu.org（<at> を@に変更のうえ、ご送信下さい）

2020年度春季大会プログラム（ウェブでの書面開催）

*以下のプログラムの司会者、報告者、討論者には変更あるいは追加が生じる場合があります。

6月7日（日）

協力校による自由応募分科会 1 「中越十年戦争（1979－1989）と現代」

この報告は、以下のプロジェクトとの共催となる。

基盤研究(B)（一般）「近現代ベトナムにおける中国プレゼンスの諸相—連環人文学的ベトナム地域研究」（代表者：今井昭夫，課題番号：17H02229）

基盤研究(C)（一般）「『同志性』からみたベトナム・中国関係の変容と展望に関する研究」（代表者：栗原浩英，課題番号：18K11775）

司会：今井昭夫（東京外国語大学）

報告1：小高泰（拓殖大学）

「中越戦争史実公開から見た中越関係」

報告2：朱建栄（東洋学園大学）

「中越戦争：動機・影響と40年後の評価—中国サイドの資料を中心に」

報告3：栗原浩英（東京外国語大学）

「中越十年戦争の歴史的 position」

討論：石井明（東京大学）

自由応募分科会 2 「冷戦の幕開けと中国内戦—1940年代における米ソの対中軍事支援の意図と実態」

司会：阿南友亮（東北大学）

報告1：阿南友亮（東北大学）

「四平街のソ連兵—米・台の機密文書からみる中国内戦へのソ連の軍事介入—」

報告2：藤井元博（防衛研究所）

「日中戦争末期における国民党軍の軍事建設と米国の対華支援」

討論：麻田雅文（岩手大学）

自由応募分科会3「中国農村社会における生活組織と女性団体の役割」

司会：堀口正（大阪市立大学）

報告1：江口伸吾（島根県立大学）

「中国農村における協商民主と農村ガバナンス」

報告2：閻美芳（宇都宮大学）

「中国における下からの公の生成プロセス—「差序格局」と「体情」からみた中国社会論」

報告3：劉楠（山梨英和大学）

「中国農村における女性団体—婦女連の活動と役割」

討論：滝田豪（京都産業大学）

自由論題1「東南アジアの政治・経済」

司会兼討論：川村晃一（アジア経済研究所）

報告1：小西鉄（福岡女子大学）

「インドネシアにおける金融監督の実効性：国有保険会社 Jiwasraya 事件からの考察」

報告2：金悠進（京都大学）

「非民主的法案の創造：インドネシアにおける創造経済と文化実践の相互依存に着目して」

報告3：酒向浩二（みずほ総合研究所）

「カンボジアで高まる中国の存在感」

報告4：伊藤晋（中央大学）

「フィリピン・ドゥテルテ政権によるインフラガバナンスに関する考察」

A Study on Infrastructure Governance by the Duterte Administration in the Philippines

討論：川村晃一（アジア経済研究所） 鈴木有理佳（アジア経済研究所）

自由論題2「中国政治史」

司会兼討論：川島真（東京大学）

報告1：高暁彦（東北大学・院）

「中華人民共和国建国初期における中国人民解放軍の民兵制度の形成：貴州省東北部を考察の中心に」

報告2：南岳（北海道大学）

「清末出版界はどのように中国の近代化に貢献したのか-『農学報』と羅振玉を中心とする考察-」

報告3：周俊（早稲田大学・院）

「『毛主席は祖国の大地を巡遊する』：現代中国における中央指導者の視察調査と情報収集（1949-1954）」

討論：川島真（東京大学） 加茂具樹（慶応義塾大学）

自由論題3「党・国家と中国の経済」

司会兼討論：渡邊真理子（学習院大学）

報告1：中兼和津次（東京大学）、三竝康平（帝京大学）

「毛沢東時代に中国経済は成長していたか？」

報告2：王娜（中国山東師範大学公共管理学院）

「中国の住宅価格の都市全要素生産性に及ぼす影響—285地級市のパネルデータに基づく実証分析」

報告3：張馨元（横浜国立大学）

「中国における葉煙草の生産と流通体制」

討論：宝剣久俊（関西学院大学） 渡邊真理子（学習院大学）

自由論題4「香港と中国社会」

司会兼討論：阿古智子（東京大学）

報告1：佐藤奈緒（東京外国語大学）

「現代中国の都市部で法律支援をおこなう『穏健派』弁護士の行動様式」

報告2：金世勇（法政大学・院）

「中国における「国学ブーム」という現象について」

報告3：銭俊華（東京大学・院）

「香港人のアイデンティティについての『日本』-『本土派』と戦争の記憶-」

討論：阿古智子（東京大学） 倉田徹（立教大学）

自由論題5「感染症と非伝統的安全保障」

司会：松田康博（東京大学）

報告1：大門（佐藤） 毅（早稲田大学）

「新型コロナウイルスの脅威下における日中の政策協力：緊急提言」

報告2：ベユン（慶應義塾大学）

「韓国における非伝統的安全保障と感染症対策：「リスク管理」から「危機管理」へ」

討論：庄司智孝（防衛研究所） 鬼丸武士（九州大学）

自由論題6「金融と産業」

司会：三重野文晴（京都大学）

報告1：奥田英信（帝京大学）

「ドル化経済における銀行業の資本構成の決定要因：カンボジア銀行業の計量分析」

報告2：相場大樹（JICA 緒方研究所）

「銀行貸し出しを通じた外国の金融政策の途上国への波及」

報告3：山口健介（東京大学）

「タイに見る天然ガス川下産業の競争力：マレーシア・インドネシアとの比較的地見地」

討論：濱田美紀（アジア経済研究所） 河野元子（政策研究大学院大学）

自由論題7「中国の政治」

司会兼討論：青山瑠妙（早稲田大学）

報告1：鈴木隆（愛知県立大学）

「中国・習近平の政治認識とリーダーシップ：地方指導者時代の著作内容を手がかりとして」

報告2：工藤文（早稲田大学）

「中国共産党による新聞所有の保障－制度の発展過程の分析から」

討論：小嶋華津子（慶應義塾大学） 青山瑠妙（早稲田大学）

2019年度アジア政経学会春季大会のご案内

アジア政経学会会員各位

2019年度春季大会を6月8日(土)～9日(日)に、慶應義塾大学三田キャンパスで開催いたします。

6月8日(土)は、午前中に自由応募分科会と自由論題で4つのセッションを開催し、午後には榎山セミナー・国際シンポジウムを、公益財団法人榎山奨学財団からの助成のもとで開催いたします。国際シンポジウムでは、中国・タイ・インドネシア・英国からの研究者を招聘し、日本の研究者も交えて、「アジアの中の東南アジア研究——アジア域内の相互関係はいかに論じられてきたか」を議論します。終了後には、会員総会と懇親会が予定されています。

9日(日)の午前中には、自由応募分科会と自由論題で4つのセッションを行い、午後には開催校企画としての共通論題「天安門事件30周年——1980年代中国からの問いかけ」を含む2つのセッションを開催します。

会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

研究企画委員会・春季大会実行委員会一同

<アジア政経学会春季大会企画委員会>

研究企画担当理事：佐藤百合（アジア経済研究所）、石塚迅（山梨大学）

同委員：小原江里香（久留米大学）、安倍誠（アジア経済研究所）

<慶應義塾大学・春季大会実行委員会>

高橋伸夫（代表）、山本信人、小嶋華津子、安田淳、段瑞聡、磯部靖、島田美和、加茂具樹、鄭浩瀾、呉茂松、衛藤安奈、上野正弥、有澤雄毅

<国際シンポジウム（榎山セミナー）担当>

三重野文晴（京都大学）、川島真（東京大学）

■大会に関する問い合わせ先

*お問い合わせは、下記の大会専用メールアドレス宛にE-mailでお願いいたします。

大会実行委員会

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学法学部 小嶋華津子研究室

実行委員会からのお知らせ

【6月8日(土)・9日(日) 於 慶應義塾大学三田キャンパス】

今回の大会は1日目・2日目の両日、慶應義塾大学三田キャンパス（JR山手線田町駅下車）が会場となります。自由応募分科会および自由論題の会場は1つの建物（南校舎）にまとめ、コンパクトな大会運営を心がけています。以下の諸点をお読みのうえ、ご不明の点等がございましたら、実行委員会までご連絡下さい。

1. 大会のペーパー・レス化

今大会はペーパーレス化を進めるため、報告者のレジメをまとめた大会要旨集は作成いたしません。報告要旨はフルペーパーとともに、学会の大会ウェブサイトに掲載してあります。要旨・フルペーパー閲覧の際に必要なIDとパスワードは、後にメール配信される大会案内をご参照下さい。

大会当日に無線LANを利用して、端末で要旨やフルペーパーをご覧になるためには、次の項目にご注意下さい。

2. 会場での無線LAN利用について

慶應義塾大学ではeduroamのサービスをご利用いただくことができます。加えて、慶應義塾大学の無線LANを利用するためのIDとパスワードを発行いたします。

3. 昼食と休憩所について

キャンパス内の学生食堂は、土曜日お昼まで営業しております。日曜日はキャンパス周辺の店舗をご利用下さい。

また、休憩スペースを会場（南校舎）4階444教室に設けますので、こちらをご利用下さい。なお、休憩スペースには飲み物やお菓子をいくらか用意いたします。

4. 懇親会について

土曜日の榎山セミナー・国際シンポジウムの終了後、キャンパス内の研究室棟1階AB会議室で懇親会を開催いたします。懇親会費は、お一人あたり5,000円、優待・学生の方は3,000円となります。

5. 報告者へのお願い

当日の会場には、パソコン・プロジェクターなどが使用可能です。パソコンのOSはウィンドウズ10です。ご自身のPCを使用される場合、マック用のコネクタは準備がないのでご持参下さい。また、資料等を配布される場合は、必要部数（最大で50部程度）をコピーのうえご持参願います。当日は会場でコピー機等の利用ができませんので、田町駅周辺またはキャンパス周辺のコンビニ等をご利用下さい。

例年、報告者から出欠アンケートをお送りいただけないことが多く、懇親会の人数把握などに支障をきたしています。出欠アンケートへの回答も、忘れずにお願いいたします。

6. 託児所の利用

託児所の利用が必要な場合、事前に実行委員会に届けのあったものについて、料金の半額を補助します（ただし補助上限を7,000円とします）。料金支払いの領収書を大会受付にご持参下さい。託児所への利用申込と支払については、各自で手続きをして下さい。

託児所利用の事前届および田町駅周辺の保育所情報に関しては、5月20日までにお問い合わせ、ご連絡下さい。

【会場へのアクセス】

6月8日（土）・9日（日）：慶應義塾大学三田キャンパス（東京都港区三田2-15-45）

会場：南校舎（受付は4階）

【大会出欠アンケート】

大会に参加される方は、出欠アンケートのサイトにご回答下さい。

アンケート回答の締め切りは、5月25日（土）です。上記のように、懇親会の人数把握にも必要ですので、司会・報告者・討論者など登壇者の方々も、出欠アンケートをお送り下さい。参加予定の皆様は、必ずご回答いただきますようお願い申し上げます。

本学会は基本的に一般公開されていますので、非会員の方もご自由にご参加下さい。参加をご希望の方は、上記の出欠アンケートのサイトにご回答ください。うまくいかない場合は、メールでご連絡ください。メールのタイトルを「大会参加希望（非会員）」としたうえで、「お名前」「ご所属」「ご連絡先E-mail」「参加希望セッション名」「懇親会参加の有無」を明記し、大会専用メールアまでお申し込み下さい。

2019年度春季大会プログラム

*以下のプログラムの司会者、報告者、討論者には変更あるいは追加が生じる場合があります。

6月8日(土)

- 9:30 受付開始(南校舎4階)
10:00-12:00 自由応募分科会・自由論題
12:00-14:00 昼休み/理事会・評議員会(大学院校舎8階東アジア研究所会議室・産業研究所会議室)
14:00-16:30 榎山セミナー・国際シンポジウム(北館ホール)
17:00-19:00 会員総会・懇親会(研究室棟1階AB会議室)

6月9日(日)

- 9:30 受付開始(南校舎4階)
10:00-12:00 自由応募分科会・自由論題
12:00-13:00 昼休み
13:00-15:30 共通論題・自由論題
-

6月8日(土)

【午前】10:00-12:00

自由応募分科会1「一帯一路と東南アジア」(南校舎443)

- 司会:黒柳米司(大東文化大学名誉)
報告1:福田保(東洋英和女学院大学)
「米中競争下における多国間地域制度」
報告2:平川幸子(早稲田大学)
「「一帯一路」時代における日・ASEAN関係」
報告3:小笠原高雪(山梨学院大学)
「ベトナムの安全保障と対米対中外交」
討論:浅野亮(同志社大学)

自由論題1「中国の政治」(南校舎445)

- 司会兼討論:岩谷将(北海道大学)
報告1:加納敦子(筑波大学・院)
「中国国民政府の朝鮮義勇隊支援:1938-1942」
報告2:相田守輝(筑波大学・院)
「習近平の「監察」と人民解放軍への影響」
報告3:任哲(アジア経済研究所)
「利益配分の政治:中国沿海地域の村の株式合作社に関する考察」
討論:滝田豪(京都産業大学)

自由論題2「中国の地方と少数民族」(南校舎442)

- 司会兼討論:小林拓磨(松山大学)
報告1:熊倉潤(アジア経済研究所)
「新疆ウイグル自治区における反右派闘争:少数民族エリートの役割に注目して」
報告2:木下光弘(敬和学園大学)
「華国鋒と少数民族」
報告3:南川高範(環日本海経済研究所)
「中国経済の省市区間相互作用と経済一体化に関する研究」
討論:星野昌裕(南山大学)

自由論題3「外交と安全保障」(南校舎446)

- 司会兼討論:竹中千春(立教大学)
報告1:岡本至(文京学院大学)

「中国を世界経済からde-coupleできるのか? : 中国との非対称相互依存を「対称化」するための方策—叩頭なき朝貢貿易(国家管理貿易)を目指して」

報告2 : 下平拓哉(防衛省防衛研究所)

「太平洋島嶼国に対する日米中の戦略と安全保障協力」

報告3 : Rupakjyoti Borah(国立シンガポール大学)

「Japan-India Connectivity Projects in Northeast India: Analysing the Benefits and Challenges」

討論 : 青山瑠妙(早稲田大学)

【午後】14:00-16:30

櫻山セミナー・国際シンポジウム

「アジアの中の東南アジア研究 : アジア域内の相互関係はいかに論じられてきたか?」(北館ホール)

趣旨説明 : 三重野文晴(京都大学)

司会 : 山本信人(慶應義塾大学)

報告者 : Bi Shihong(畢世鴻)(中国・雲南大学)

Nualnoi Treerat(タイ・チュラロンコン大学)

Didi Kwartanada(インドネシア・ナビル財団)

Michael Feener(英・オックスフォード大学)

討論 : 清水一史(九州大学) / 岡本正明(京都大学)

※本セッションには、英日の同時通訳がつかます。

6月9日(日)

【午前】10:00-12:00

自由応募分科会2「中国と台湾のナショナリズム : 衝突はあるのか?」(南校舎443)

司会 : 松田康博(東京大学)

報告1 : 江藤名保子(アジア経済研究所)

「中国ナショナリズムの多様化と台湾政策」

報告2 : 福田円(法政大学)

「中国の対台湾工作と台湾の「ナショナリズム」」

討論 : 高原明生(東京大学) / 田島英一(慶應義塾大学)

自由論題4「アジアの都市と農村」(南校舎445)

司会兼討論 : 岡本郁子(東洋大学)

報告1 : 李昭憲(東京大学・院)

「地域住民の「自助」が農村の経済発展に与える影響 : 韓国セマウル運動における「契」の役割を中心に」

報告2 : 翟亜蕾(京都大学)

「The Impact of Internal Conflicts on Borrowing and Lending Behavior of Rural Households: Evidence from Northern Myanmar」

報告3 : 宮川慎司(東京大学・院)

「都市貧困層による生存戦略の変容 : マニラ首都圏・貧困地域における「盗電」の事例から」

討論 : 深川博史(九州大学) / 佐竹眞明(名古屋学院大学)

自由論題5「人の移動と組織形成」(南校舎446)

司会兼討論 : 園田茂人(東京大学)

報告1 : 齊藤安希子(慶應義塾大学・院)

「Japanese Business Leaders and the Rise of Private Economic Diplomacy in the 1960s」

報告2：佐藤由利子（東京工業大学）

「戦前、戦後期の留学生受入れと国際学友会の役割」

報告3：張兵（山梨県立大学）

「中国人海外旅行者の急増とそのアジア諸国への影響」

討論：大庭三枝（東京理科大学）

自由論題6「国際協力と連携」（南校舎442）

司会兼討論：大泉啓一郎（亜細亜大学）

報告1：ポッター・デビッド（南山大学）・金孝淑（関西外国語大学）

「日韓の国際選挙支援：アジア型援助モデルに関する議論の観点から」

報告2：酒向浩二（千葉商科大学・院）

「日本企業は中国企業とのインフラ分野における第三国市場連携をどのように進めていくべきなのか：ASEAN地域を中心とする考察」

討論：佐藤仁（東京大学）

【午後】 13:00-15:30

共通論題「天安門事件30周年：1980年代中国からの問いかけ」（西校舎519）

司会：高橋伸夫（慶應義塾大学）

報告1：加茂具樹（慶應義塾大学）

「断絶と継承：13回党大会における『社会協商対話制度の構築』の提起とその後」

報告2：巖善平（同志社大学）

「中国は『1989年政治風波』から何を学んだか：経済問題を中心に」

報告3：石塚迅（山梨大学）

「『公然と憲法に違反』：立憲主義、違憲審査制、中国憲法」

討論：唐亮（早稲田大学）/小嶋華津子（慶應義塾大学）

自由論題7「東南アジアの経済」（南校舎443） 13:00～15:00

司会兼討論：中川利香（東洋大学）

報告1：西野友浩（神戸大学・院）

「知的財産権保護に応じた日本企業の技術輸出と労働生産性への影響」

報告2：吉野文雄（拓殖大学）

「東南アジアの景気循環」

報告3：上原健太郎（京都大学）

「マレーシアにおける中小企業金融の展開とその特徴」

討論：椎野幸平（拓殖大学）

2018年度アジア政経学会春季大会のご案内

アジア政経学会会員各位

2018年度春季大会を6月9日(土)～10日(日)に、学習院大学(東京都豊島区目白)で開催いたします。

6月9日(土)は、午前中に自由応募分科会と自由論題で5つのセッションを開催し、午後には榎山セミナー・国際シンポジウムを、公益財団法人榎山奨学財団との共催で開催いたします。シンポジウムでは、インド・韓国・シンガポール・中国からの研究者を招聘し、日本の研究者も交えて、「アジアの中国研究－アジアから中国への視線－」を議論します。終了後には、会員総会と懇親会が予定されています。

10日(日)の午前中には、台湾東南アジア学会とのラウンドテーブルと自由応募分科会・自由論題で5つのセッションを行い、午後には共通論題「アジア研究の成果をどう教育につなげるか」を始めとする3つのセッションを開催します。

プログラムにありますように、自由応募分科会と自由論題のテーマは、政治・経済・国際関係・歴史の幅広い分野におよび、東アジア・東南アジア・南アジアなど個別地域を横断する内容も扱われています。さらに、研究と教育の問題を扱った共通論題のように、これまであまり本学会で取り上げられなかった新たなテーマも取り上げています。榎山セミナー・国際シンポジウムに加えて、国際研究交流のセッションとして、台湾の東南アジア学会とのラウンドテーブルも開催されます。今回、開催校は独自の企画をたてず、榎山セミナー・国際シンポジウムへの協力などを通じて、プログラムのコンテンツに参画しています。

JR山手線目白駅から徒歩近く、交通の便が良い会場で開催いたします。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

研究企画委員会・春季大会実行委員会一同

<アジア政経学会春季大会企画委員会>

研究企画担当理事：佐藤百合(アジア経済研究所)、石塚迅(山梨大学)

同委員：小原江里香(久留米大学)、安倍誠(アジア経済研究所)

<学習院大学・春季大会実行委員会>

磯崎典世(代表)、未廣昭、中居良文、渡邊真理子

<国際シンポジウム(榎山セミナー)担当>

川島真(東京大学)、三重野文晴(京都大学)

■大会に関する問い合わせ先

*お問い合わせは、下記の大会専用メールアドレス宛にE-mailをお願いいたします。

大会実行委員会

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院大学法学部 磯崎典世研究室

実行委員会からのお知らせ

【6月9日(土)・10日(日) 於 学習院大学】

今回の大会は1日目・2日目の両日、学習院大学(JR山手線目白駅下車)が会場となります。大会当日の無線LAN利用などでご不便をおかけしますが、懇親会以外の会場は1つの建物(西2号館)にまとめ、コンパクトな大会運営を心がけています。以下の諸点をお読みのうえ、ご不明の点等がございましたら、ご遠慮なく実行委員会までご連絡下さい。

1. 大会のペーパー・レス化

今大会はペーパー・レス化を進めるため、報告者のレジュメをまとめた大会要旨集は作成いたしません。報告要旨はフルペーパーとともに、学会の大会ウェブサイトに掲載してあります。要旨・フルペーパー閲覧の際に必要なIDとパスワードは、メール配信の大会案内をご参照下さい。大会当日に無線LANを利用して、端末で要旨やフルペーパーをご覧になるためには、次の項目にご注意下さい。

2. 会場での無線LAN利用について

学習院大学はeduroamに加盟していないため、そちらのサービスはご利用いただけません。代わりに、学習院大学の無線LANを利用するためのIDとパスワードを発行いたします。セキュリティ対策のため、お一人ずつ利用規約にサインをいただき、個別のID/パスワードを交付します。

大会中に学習院大学の無線LAN利用を希望される方は、下記の出欠アンケートで、事前申請をお願いいたします。事前に申請いただかない場合には発行ができませんので、必ずアンケートで申請して下さい。お手数をおかけしますが、ご了解のうえ、対応をお願いいたします。

3. 昼食と休憩所について

キャンパス内の学生食堂は、土曜日お昼までの営業でその後は休業しております。目白駅周辺の店舗をご利用下さい。学内にはセブン・イレブンがあります。

また、休憩スペースを会場（西2号館）3階304号室に設けますので、こちらもご利用下さい。なお、休憩スペースには飲み物やお菓子を用意いたしませんので、キャンパス内の自動販売機などをご利用下さい。

4. 懇親会について

土曜日の総会終了後、大学構内の舗仁会館1階食堂で懇親会を開催いたします。懇親会費は、お一人あたり4,000円、優待・学生の方は3,000円となります。

5. 報告者へのお願い

当日の会場には、パソコン・プロジェクターなどが使用可能です。パソコンのOSはウィンドウズ10です。ご自身のPCを使用される場合、マック用のコネクターは準備がないのでご持参下さい。また、資料等を配布される場合は、必要部数（最大で50部程度）をコピーのうえご持参願います。当日は会場でコピー機等の利用ができませんので、目白駅周辺のコンビニ等をご利用下さい。

例年、報告者から出欠アンケートをお送りいただけないことが多く、懇親会の人数把握などに支障をきたしています。出欠アンケートへの回答も、忘れずをお願いいたします。

6. 託児所の利用

託児所の利用が必要な場合、事前に実行委員会に届けのあったものについて、料金の半額を補助します（ただし補助上限を7,000円とします）。料金支払いの領収書を大会受付にご持参下さい。託児所への利用申込と支払については、各自で手続きをして下さい。なお、目白駅周辺では3ヶ所の保育所が土曜・休日の一時保育サービスを提供していますが、定員の空き具合によっては利用できない場合もあります。

託児所利用の事前届および目白駅周辺の保育所情報に関しては、5月20日までにお問い合わせ、ご連絡下さい。

【会場へのアクセス】

6月9日（土）・10日（日）：学習院大学（東京都豊島区目白1-5-1）

【大会出欠アンケート】

大会に参加される方は、出欠アンケートのサイトにご回答下さい。アンケート回答の締め切りは、5月27日です。上記のように、懇親会の人数把握にも必要ですので、司会・報告者・討論者など登壇者の方々も、出欠アンケートをお送り下さい。今回は、こちらで提供する無線LAN利用でも事前申請が必要となりますので、参加予定の皆様は、必ずご回答いただけますようお願い申し上げます。

本学会は基本的に一般公開されていますので、非会員の方もご自由にご参加下さい。参加をご希望の方は、上記の出欠アンケートのサイトにご回答いただくか、「大会参加希望（非会員）」とタイトルをつけたメールで、大会専用メールアドレス：jaas-spring@[]npo-ochanomizu.org（@[]を@に置き換え

てください)までお申し込み下さい。メールには、「お名前」「ご所属」「ご連絡先E-mail」「参加希望セッション名」を明記して下さい。

2018年度春季大会プログラム

*以下のプログラムの司会者、報告者、討論者には変更あるいは追加が生じる場合があります。

6月9日(土)

9:30 受付開始(西2号館4階)
10:00-12:00 自由応募分科会・自由論題
12:00-14:00 昼休み / 理事会・評議員会
14:00-16:30 樫山セミナー・国際シンポジウム
17:00-19:00 会員総会・懇親会

6月10日(日)

9:30 受付開始(西2号館4階)
10:00-12:00 台湾東南アジア学会とのラウンドテーブル・自由応募分科会・自由論題
12:00-13:00 昼休み
13:00-15:30 共通論題・自由論題

6月9日(土)

【午前】10:00-12:00

自由応募分科会1「中国農村の過疎化と都市化」(西2-404教室)

司会:堀口正(大阪市立大学)

報告1:堀口正

「中国農村の過疎問題と分析視角」

報告2:金湛(南九州短期大学)

「山地丘陵域における出稼ぎと高齢者介護のジレンマ」

報告3:焦必方(中国・復旦大学)

「都市化の現状と特徴:日本中国比較より」

討論:江口伸吾(島根県立大学)/小原江里香(久留米大学)

自由応募分科会2「東南アジアにおけるアグロ資源利用型産業の発展可能性と課題」(西2-405教室)

司会:佐藤百合(アジア経済研究所)

報告1:小井川広志(関西大学)

「マレーシア・パーム油産業バリューチェーンの発展における政府の役割」

報告2:河野元子(政策研究大学院大学)

「タイ・天然ゴム産業の高度化をめぐる官民の役割:マレーシアとの比較より」

報告3:坂田正三(アジア経済研究所)

「ベトナム・天然ゴム産業における国有企業寡占状態からの脱却の可能性」

討論:岩佐和幸(高知大学)

自由論題1「国際関係と安全保障」(西2-305教室)

司会兼討論:益尾知佐子(九州大学)

報告1:木村隆和

「日・北越国交正常化と日米関係」

報告2:下平拓哉(防衛省防衛研究所)

「インド太平洋地域における海洋秩序構築の問題と展望:主要海洋大国の役割・任務・能力の視点から」

報告3:高橋知子(東京大学・院)

「中国と多国間環境レジーム：国際連合人間環境会議と残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約の事例から」

討論：小笠原高雪（山梨学院大学）

自由論題2「東南アジアの経済」（10:00～12:30）（西2-403教室）

司会：清水一史（九州大学）

報告1：猿渡剛（福井県立大学）

「ASEANの自由貿易協定：電機産業の事例考察を中心に」

報告2：國本康寿（梅光学院大学）

「タイの経済発展のゆくえ：プーミポン国王が掲げた「足るを知る経済」を手掛かりに」 <-a href="images20180609/you/15.pdf" target="_blank">要旨

報告3：今井孝司（帝塚山大学・院）

「2008年食糧危機における穀物価格高騰要因の検証：フィリピンのコメ価格高騰を中心に」

報告4：高橋正樹（武蔵野大学）

「地域研究の方法論：批判的実在論の観点から」

討論：石川幸一（亜細亜大学）/山本博史（神奈川大学）/永井史男（大阪市立大学）

自由論題3「南アジアの政治」（10:00～11:30）（英語セッション）（西2-406教室）

司会兼討論：伊豆山真理（防衛省防衛研究所）

報告1：田中聡一郎（一橋大学・院）

「Constructing of Regional Identity of “Northern Tier”: The formation and activities of two regional organizations, RCD and ECO」

報告2：Rupakjyoti Borah（国立シンガポール大学）

「Why Northeast India is Important for Japan-India Relations?」

討論：溜和敏（高知県立大学）

【午後】 14:00-16:30

櫻山セミナー・国際シンポジウム「アジアの中国研究：アジアから中国への視線」（西2-201教室）

趣旨説明：川島真（東京大学）

司会：中居良文（学習院大学）

報告者：黄載皓（韓国外国語大学校）

Alka Acharya（インド・ジャワハリラル・ネルー大学）

劉宏（シンガポール・南洋理工大学）

蔡東杰（台湾・国立中興大学）

討論：白石隆（熊本県立大学）

※本セッションには、英日の同時通訳がつきます。

6月10日（日）

【午前】 10:00-12:00

台湾東南アジア学会とのラウンドテーブル「台湾の新南向政策を評価する」（英語セッション）（西2-403教室）

司会：蕭新煌（台湾・中央研究院）/園田茂人（東京大学）

話題提供者：楊昊（台湾・国立政治大学）

黄載皓（韓国外国語大学校）

末廣昭（学習院大学）

佐藤百合（アジア経済研究所）

自由応募分科会3「中国の過剰生産能力問題と通商摩擦」（西2-305教室）

司会：徐涛（北海学園大学）

報告1：渡邊真理子（学習院大学）

「中国鉄鋼産業における過剰生産能力問題と補助金：ソフトな予算制約の存在検証」

報告2：川島富士雄（神戸大学）

「過剰生産能力問題に対するWTO補助金ルールからのアプローチ：米中アルミ紛争を素材に」

討論：大橋英夫（専修大学）

自由論題4「中国と（北）朝鮮」（西2-405教室）

司会兼討論：川島真（東京大学）

報告1：加納敦子（筑波大学・院）

「満洲事変前後における中国国民政府の朝鮮独立運動支援：「革命の重心」形成の試みとその限界」

報告2：張雲（新潟大学）

「「米国中心主義思考」と冷戦後中国の北朝鮮政策」

報告3：若杉美奈子（東京大学・院）

「1975年における金日成の海外視察を通じた南北統一政策の変容」

討論：井岡博（群馬県立女子大学）/宮本悟（聖学院大学）

自由論題5「東アジアの政治と社会」（西2-404教室）

司会兼討論：石塚迅（山梨大学）

報告1：ベユン（慶應義塾大学）

「韓国の「分断社会」とコンフリクト・マネジメント：新古里5・6号機の公論化委員会を事例として」

報告2：内藤寛子（東北大学）

「1980年代における党政関係の制度化と司法監督の導入：行政訴訟法の制定過程に着目して」

報告3：園弘子（宮崎大学）

「日本統治時代の台湾における産業教育：商業科教員に求められたもの」

討論：金基成（山梨大学）/山崎直也（帝京大学）

自由論題6「アジアの労働」（西2-406教室）

司会兼討論：吉村真子（法政大学）

報告1：宮塚寿美子（長崎県立大学）

「北朝鮮海外派遣労働者の実態：カンボジアの例を中心に」

報告2：佐藤由利子（東京工業大学）・志村拓也（一般財団法人海外産業人材育成協会）

「日系企業における元日本留学生の活用と課題：インドネシアとタイを事例として」

報告3：新村恵美（帝京平成大学）

「就業と職種がインドの有配偶女性のエンパワーメントに与える影響」

討論：初鹿野直美（アジア経済研究所）

【午後】 13:00-15:30

共通論題「アジア研究の成果をどう教育につなげるか」（西2-402教室）

司会・問題提起：園田茂人（東京大学）

報告1：木宮正史（東京大学）

「大学（院）教育としてのアジア地域研究の意義と役割：日本学術会議における議論を中心にし
て」

報告2：遠藤環（埼玉大学）

「「アジアの世紀」を学ぶ、「アジアの世紀」を教える：『現代アジア経済論』編集の事例から」

報告3：松井智恵子（有斐閣）

「アジアと出会う教科書づくり：『はじめて出会う中国』の事例から」

自由論題7「中国経済」（西2-403教室）

司会：小原江里香（久留米大学）

報告1：万嘉偉（関西大学・院）

「中国における新型城鎮化に関する研究：金山区の事例」

報告2：徐涛（北海学園大学）

「中国製造業GISデータベースの構築と集積地の識別：自動車産業」

報告3：陳光輝（神戸大学）

「中国国有企業の生産性」

報告4：中兼和津次（東京大学）・三竝康平（帝京大学）

「Privatization/Marketization Dynamics in Developing Transition Economies: New Evidence from China」

討論：滕媛媛（愛知大学）/金澤孝彰（和歌山大学）/孟哲男（大阪商業大学）/巖善平（同志社大学）

自由論題8「東南アジアの金融・通貨」（13:00～15:00）（西2-405教室）

司会兼討論：高阪章（大阪大学）

報告1：奥田英信（一橋大学）・相場大樹（JICA研究所）

「Operational Efficiency of Cambodian and Philippine Microfinance Institutions: A Comparative Analysis Using DEA and PCA」

報告2：上原健太郎（京都大学）

「ブルネイ・ダルサラームの開発におけるイスラーム銀行業の意義：貸出業務に着目して」

報告3：小田島健（JICA研究所）・相場大樹（JICA研究所）・Khou Vouthy（カンボジア中央銀行）

「What is the Problem with Local Currency in a Dollarized Country? Currency Choice for Payment and Transaction Cost」

討論：齋藤純（アジア経済研究所）

2017年度アジア政経学会春季大会のご案内

アジア政経学会会員各位

2017年度春季大会を6月24日（土）～25日（日）に開催いたします。

6月24日（土）～25日（日）は、一橋大学（東京都・国立市）にて、評議会・理事会、総会、国際シンポジウム、共通論題、自由論題、分科会、および榎山セミナーを行います。

今回の大会では、中国経済の実証分析、中国とアジア太平洋地域、東アジアの食料・農業・土地、中国政治の動態、東・東南アジアの国際関係・政治、東南アジアの移動・地域協力、東アジアの経済、東アジアの企業・金融などの問題を扱う自由論題のセッションが8つ、アジアにおける性的マイノリティの政治：家族・宗教・国家、インドの産業発展と日系企業、ベトナム社会の上位層、アジア太平洋秩序とチャイナ・ファクター、ポスト・マハティール期のマレーシア政治を扱う自由応募分科会が5つ企画されています。

24日には自由論題や自由応募分科会のほか、共通論題「2017：不確実性の時代のアジアと世界」、また開催校企画の国際シンポジウムで「カンボジア大規模アンケート調査報告：ドル化から見える政治・経済の実相」が開催されます。また同日夕方には、会員総会および懇親会が予定されています。二日目の6月25日（日）は、引き続き自由論題、自由応募分科会がおこなわれますが、午後には榎山セミナー「データアーカイブとアジア研究」が公益財団法人榎山奨学財団との共催で開催され、中国、韓国、フィリピンなどから研究者を招聘してアジア研究の将来展望について議論します。

会員の皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

研究企画委員会・春季大会実行委員会一同

<アジア政経学会春季大会企画委員会>

研究企画担当理事：川島真（東京大学）、川中豪（アジア経済研究所）

<一橋大学・春季大会実行委員会>

実行委員：奥田英信（代表）、馬欣欣、南裕子

<国際シンポジウム（榎山セミナー）担当>

園田茂人（東京大学）

■大会に関する問い合わせ先

*お問い合わせは、下記の大会専用メールアドレス宛にE-mailでお願いいたします。

大会実行委員会

〒186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学経済学部 奥田英信研究室

E-mail: jaas-spring[@]npo-ochanomizu.org （[@]を@に置き換えてください。大会専用アドレス）

実行委員会からのお知らせ

【6月24日（土）・25日（日） 於 一橋大学（国立キャンパス）】

今回の大会はアジア政経学会と一橋大学経済学研究科・経済研究所との共催です。大会1日目・2日目の両日、一橋大学（国立キャンパス、大学通りを挟んで西キャンパスと東キャンパスに分かれています）が会場となります。都心から距離があるため、ご不便をおかけすることと存じます。また、実行委員はわずか3名であるため、大会会場の設定に最大限の簡略化をはかっており、ご期待に添えていないところが

あるかもしれません。以下の諸点をお読みのうえ、ご不明の点等ございましたら遠慮なく実行委員会までご連絡ください。

1. 大会のペーパー・レス化

今大会はペーパー・レス化を進めるため、報告者のレジュメをまとめた大会要旨集を作成しません。報告要旨は、報告者のフルペーパーとともに、下記の大会ウェブサイトに掲載してあります。フルペーパー閲覧の際に必要なIDとパスワードは、今回配信の大会案内をご参照ください。また、会場ではWi-Fi設備が提供できませんので、あらかじめご承知おきください。

2. 昼食と休憩所について

キャンパス内の学生食堂は、大会当日は休業しております。昼食については、国立駅周辺の店舗で調達いただくなど、各自ご持参ください。

また、休憩スペースを会場（西キャンパス本館）31番室に設けますので、こちらもご利用ください。なお、今回は休憩スペースでは飲み物やお菓子を用意いたしませんので、各自ご持参いただくか、キャンパス内の自動販売機などをご利用ください。

3. 懇親会について

午後のセッションとシンポジウム終了後、東キャンパスのマーキュリータワー7階ホールに移動し、会員総会に引き続き懇親会を開催します。マーキュリータワーへの移動時間は、大学通りを横断して西キャンパスから東キャンパスに移動するため、徒歩で8分程度は必要です。懇親会費はおひとりあたり4,000円、優待・学生の方は3,000円となります。

4. 報告者へのお願い

当日会場ではプロジェクターの使用が可能ですが、PCはご持参ください。また会場のコネクターはウィンドウズ用となっておりますので、マック用のコネクターはご持参ください。資料等を配布される場合は、必要部数（最大で50部程度）をコピーのうえご持参願います。当日は会場でコピー機等の利用ができませんので、国立駅南口広場のローソン国立駅南口店などコンビニをご利用ください。

5. 託児室の設置

託児所の利用が必要な場合、事前に実行委員会に届けのあったものについて、料金の半額を補助します（ただし補助上限を7,000円とします）。料金支払いの領収書を大会受付（本館入口）までご持参ください。託児所への利用申込と支払いについては、各自で手続きをしてください。なお、国立周辺では3カ所の保育所が土・日曜日一時保育サービスを提供していますが、サービスの定員数は最大5人のため、申込順位によっては利用できない場合もあります。

託児所利用の事前届および国立周辺の保育所情報に関しては、事前にお問い合わせ、ご連絡下さい。

【会場へのアクセス】

6月24日（土）・25日（日）：一橋大学（東京都国立市中2-1）

JR中央線（東京駅から快速で約55分、新宿駅から快速で40分）

国立駅：南口から徒歩約10分

JR中央線へは、JR総武線と地下鉄東西線が三鷹駅まで乗り入れしています。

【大会出欠アンケート】

大会に参加される方は、出欠アンケートのサイト、もしくはメールでご案内した出欠アンケートでご回答をお願いいたします。回答の締め切りは、6月7日（水）です。

本学会は基本的に一般公開されていますので、非会員の方もご自由にご参加ください。

2017年度春季大会プログラム

*以下のプログラムの司会者、報告者、討論者には変更あるいは追加が生じる場合があります。

6月24日 (土)

9:30 受付開始

10:00-12:00 自由論題・分科会

12:00-14:00 理事会・評議員会

14:00-16:00 共通論題・自由論題・分科会

16:30-17:00 会員総会

17:00-19:00 懇親会 4,000円 優待・学生 3,000円

6月24日 (土)

【午前】10:00-12:00

自由論題1 中国経済の実証分析 (30番教室)

司会兼討論：渡邊真理子 (学習院大学)

報告1：南川高範 (環日本海経済研究所)

「需給の空間的構造を考慮したVARモデルによる遼寧省経済停滞要因の考察」

報告2：中兼和津次 (東京大学名誉教授)・三竝康平 (帝京大学)

「中国における地方過剰投資の政治経済学：省別パネルデータによる実験的分析」

報告3：范丹 (西南財経大学)・伍駿騫 (西南財経大学)

「農外就業、大規模経営体と農地経営権の流転：空間計量経済モデルに基づいた実証分析」

討論：藤井大輔 (大阪経済大学)

討論：陳光輝 (神戸大学)

自由論題2 中国とアジア太平洋地域 (34番教室)

司会兼討論：高原明生 (東京大学)

報告1：大嶋英一 (星槎大学)

「中国の海洋政策決定過程-1988年の南シナ海における中越海戦のケース」

報告2：張雲 (新潟大学)

「中国の国際システムへの戦略認知と対日政策の関連性」

討論：益尾知佐子 (九州大学)

自由論題3 東アジアの食料・農業・土地 (36番教室)

司会兼討論：川島真 (東京大学)

報告1：朴敬玉 (日本学術振興会外国人特別研究員)

「近代間島地域における食料流通について」

報告2：那孫孟和 (東北大学大学院博士後期課程)

「ソロン・エヴェンキの牧畜経済活動についての考察」

報告3：ボヤント (桐蔭横浜大学講師)

「内モンゴルにおける土地紛糾の一考察」

討論：山田七絵 (アジア経済研究所)

自由論題4 中国政治の動態 (38番教室)

司会兼討論：天兒慧 (早稲田大学)

報告1：馬嘉嘉 (立教大学大学院博士課程)

「1970年代中国における腐敗と反腐敗：黒竜江省王守信横領事件をめぐって」

報告2：熊倉潤 (日本学術振興会海外特別研究員)

「少数民族自治区上層部の再編過程から見た文化大革命(1966-76)」

報告3：謝志海 (共愛学園前橋国際大学)・菊池真純 (東京大学)

「中国政府主導のチャイナタウン建設計画に関する一考察：アラブ首長国連邦ドバイのドラゴン・マートを事例に」

討論：佐々木智弘（防衛大学校）

自由応募分科会1 「アジアにおける性的マイノリティの政治：家族・宗教・国家」（26番教室）

司会：日下渉（名古屋大学）

報告1：田村慶子（北九州市立大学）

「台湾とシンガポールにおける性的マイノリティの人権と市民社会」

報告2：伊賀司（京都大学研究員）

「現代マレーシアにおける「セクシュアリティ・ポリティクス」の誕生—『アンワル同性愛裁判』の影響再考と活性化するLGBT運動」

報告3：宮脇聡史（大阪大学）

「フィリピンにおけるカトリック教会にとっての性をめぐる価値観の「外来性」と政治」

討論：青山薫（神戸大学）

【午後】14:00-16:00

共通論題 「2017：不確実性の時代のアジアと世界」（36番教室）

司会兼討論：竹中千春（立教大学）

報告1：高原明生（東京大学）

「不確実な世界の中の中国—ポスト毛沢東時代の終焉か」

報告2：木宮正史（東京大学）

「米中国益第一主義の狭間の朝鮮半島：韓国政治の不確実性と北朝鮮政治の硬直性」

報告3：金子芳樹（獨協大学）

「不確実性下で揺れる東南アジア—国内政治と地域統合の新たな分岐点」

報告4：竹中千春（立教大学）

「グローバル・インドへの躍動：その内政と外交の交錯」

（開催校主催）国際シンポジウム

「カンボジア大規模アンケート調査報告：ドル化から見える政治・経済の実相」（30番教室）

司会：奥田英信（一橋大学）

報告1：山田裕史（新潟国際情報大学）

「ポル・ポト政権後のカンボジア政治」

報告2：SAMRETH Sovannroeun（埼玉大学）

「ポル・ポト政権後のカンボジア経済発展」

報告3：小田島健（JICA研究所）

「ドル化の実態：NBC-JICA共同調査の第1次調査結果」

報告4：Lam Roviay（カンボジア・マイクロ・ファイナンス協会）

「マイクロファイナンスを巡る政治経済情勢」

討論：報告者全員によるパネル討論

自由論題5 東・東南アジアの国際関係・政治（34番教室）

司会兼討論：岡本次郎（下関市立大学）

報告1：木村友彦

「東ティモール問題に対するウィルシー豪外相の政策、1974-1975年」

報告2：原民樹（一橋大学大学院博士課程）

「フィリピンにおける地方政治の革新：シキホール島の事例」

報告3：石塚迅（山梨大学）

「公共圏（公共空間）と中国憲法学：北京・三味書屋の試みに注目して」

討論：日下渉（名古屋大学）

討論：中岡まり（常磐大学）

自由論題6 東南アジアの移動・地域協力 (26番教室)

司会兼討論：佐藤百合 (アジア経済研究所)

報告1：横本真千子 (北海道大学地域経済経営ネットワーク研究センター研究員)

「インドネシア家事労働者の送り出し制度の問題点」

報告2：鈴木麻里菜 (拓殖大学大学院博士課程)

「ASEANの保健衛生向上改革」

報告3：吉野文雄 (拓殖大学)

「ASEAN統合構想(IAI)の経済統合に対する効果」

討論：清水一史 (九州大学)

自由応募分科会2 「インドの産業発展と日系企業」 (38番教室)

司会：絵所秀紀 (法政大学)

報告1：佐藤隆広 (神戸大学)

「経済統計からみたインド進出日系企業」

報告2：藤森梓 (大阪成蹊大学)

「Firm Heterogeneity and the Behaviour of Japanese Manufacturing Multinationals in India」

報告3：上池あつ子 (神戸大学)

「模倣と革新のインド製薬産業史」

討論：佐藤創 (アジア経済研究所)

6月25日 (日)

09:30 受付開始

10:00-12:00 自由論題・分科会

13:00-16:00 榎山セミナー「データアーカイブとアジア研究」

【午前】 10:00-12:00

自由論題7 東アジアの経済 (34番教室)

司会兼討論：寶劔久俊 (関西学院大学)

報告1：馬欣欣 (一橋大学)

「The Effects of Minimum Wage on Wage Distribution in Urban China」

報告2：柳学洙 (日本学術振興会特別研究員)

「北朝鮮の工業配置と企業間ネットワーク」

討論：後藤富士男 (京都産業大学)

自由論題8 東アジアの企業・金融 (36番教室)

司会兼討論：高安雄一 (大東文化大学)

報告1：齋藤幸則 (桃山学院大学)

「中国進出日系企業における経営現地化にかんする事例分析：ガバナンスの観点から」

報告2：赤羽淳 (横浜市立大学)

「鴻海集団の液晶パネル事業戦略」

報告3：李素軒 (東京大学大学院博士課程)

「資本自由化以降の韓国における二つの外貨流動性危機の比較分析」

討論：吉岡英美 (熊本大学)

討論：森路未央 (大東文化大学)

自由応募分科会3 「ベトナム社会の上位層」 (30番教室)

司会：荒神衣美 (アジア経済研究所)

報告1：石塚二葉 (アジア経済研究所)

「ドイモイ期ベトナムの政治エリート層」

報告2：藤田麻衣（アジア経済研究所）

「ベトナム大企業経営者の属性と出世過程—ホーチミン証券取引所上場企業の経営者の考察—」

報告3：伊藤未帆（神田外語大学）

「行経済期ベトナムにおける大卒労働者のキャリアパス」

討論：園田茂人（東京大学）

自由応募分科会4 「アジア太平洋秩序とチャイナ・ファクター」（38番教室）

司会：黒柳米司（大東文化大学名誉教授）

報告1：浅野亮（同志社大学）

「米中対峙下におけるアジア太平洋秩序の変容と中国」

報告2：平川幸子（早稲田大学）

「リベラルな国際秩序の維持：台湾とASEANに光を」

報告3：阿部和美（早稲田大学大学院博士課程）

「『新しい』大統領によるパプア問題への取り組み」

討論：吉野文雄（拓殖大学）

自由応募分科会5 「ポスト・マハティール期のマレーシア政治」（26番教室）

司会：中村正志（アジア経済研究所）

報告1：中村正志（アジア経済研究所）

「幻の二大政党制：変わる政党システム、変わらないUMNOのヘゲモニー」

報告2：鷺田任邦（東洋大学）

「マレーシアにおける与党連合の急激な後退と路線転換の背景」

報告3：鈴木絢女（同志社大学）

「ポスト・マハティール期の政治制度改革：扇動法修正過程にみるリーダーの生存と政治の自由化」

討論：金子芳樹（獨協大学）

【午後】13:00-16:00 櫻山セミナー「データアーカイブとアジア研究」（36番教室）

「Development of Data Archive and Its Impact on Asian Studies」

Speakers

Prof. KIM Seokho 金 碩鎬 (Seoul National University)

Prof. WANG Weidong 王 衛東 (Renmin University of China)

Prof. Ronald D. HOLMES (De La Salle University, President of Pulse Asia)

Prof. YOSHINO Ryoza 吉野諒三 (Research Organization of Information and Systems)

Discussants

Prof. TANAKA Akihiko 田中明彦 (National Graduate Institute for Policy Studies)

Prof. YAMAMOTO Nobuto 山本信人 (Keio University)

Moderator

Prof. SONODA Shigeto 園田茂人 (University of Tokyo)

2016年度アジア政経学会春季大会のご案内

アジア政経学会会員各位

2016年度春季大会を6月18日（土）～19日（日）に開催いたします。

6月18日（土）は、日本貿易振興機構アジア経済研究所（千葉市・海浜幕張）にて、自由論題および分科会を行います。今回の大会では、中国経済、中国外交、東・東南アジアの経済、社会紛争などの問題を扱う自由論題のセッションが8つ、文化大革命、インドネシアの政治経済、東南アジア政治、インド洋の国際政治を扱う自由応募分科会が4つ企画されています。なお、今大会では、会場の制約から共通論題は実施せず、企画委員会による企画分科会「台湾・民進党新政権の今後と東アジア」（仮題）を開催します。夕方には、会員総会および懇親会が予定されています。

6月19日（日）には、幕張国際研修センター（千葉市・海浜幕張、アジア経済研究所の筋向かい）にて国際シンポジウムを行います。このシンポジウムは、檜山セミナーと題して公益財団法人檜山奨学財団との共催で開催し、ポーランドおよびイギリスから中国の政治経済の研究者を招聘して中国の将来展望について議論します。

会員の皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

研究企画委員会・春季大会実行委員会一同

<アジア政経学会春季大会企画委員会>

研究企画担当理事：川島真（東京大学）、川中豪（アジア経済研究所）

<アジア経済研究所・春季大会実行委員会>

実行委員長（大会担当理事）：佐藤百合、実行委員：川村晃一、荒神衣美、佐藤創、寶劔久俊、山田七絵、

山田紀彦

所在地：〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2 アジア経済研究所

<国際シンポジウム（檜山セミナー）担当>

加茂具樹（慶應義塾大学）

■大会に関する問い合わせ先

*お問い合わせは、下記の大会専用メールアドレス宛にE-mailでお願いいたします。

大会実行委員会

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2 アジア経済研究所 佐藤百合

実行委員会からのお知らせ

【6月18日（土） 於 アジア経済研究所】

大会1日目の会場となる日本貿易振興機構アジア経済研究所（IDE-JETRO）は、大学のキャンパスと異なり、各部屋が手狭なうえに館内セキュリティの関係で立ち入り禁止区域が設定されているなど、会員の皆さまにはご不便をおかけすることと存じます。一方、「図書館ツアー」や要旨集等のペーパー・レス化など、新しい試みも行います。実行委員会としては、できるかぎり快適な大会運営に努めてまいります。以下の諸点をお読みのうえ、ご不明の点等ございましたら遠慮なく実行委員会までご連絡ください。

1. 大会のペーパー・レス化

今大会はペーパー・レス化を進めるため、**報告者のレジュメをまとめた大会要旨集を作成しませ**

ん。報告要旨は、報告者のフルペーパーとともに、下記の大会プログラムに掲載してあります。フルペーパー閲覧の際に必要なIDとパスワードは、4月末にメールで配信した会員向け大会案内をご参照ください。

大会の当日は、**ノートPC、タブレット、スマートフォンなどの端末をご持参ください。会場内で利用できる無線LANを参加者の皆さまに開放いたします。**各自持参された端末で無線LANに接続し、会場で学会ホームページにアクセスすることで、報告要旨やフルペーパーをご覧いただくことができます。無線LANに接続する際のIDとパスワードについては、当日の受付で配布する会場案内でお知らせいたします。

2. 昼食と休憩所について

アジア経済研究所周辺には、レストランおよびコンビニ等の飲食施設がまったくありません。研究所内の食堂についても、大会当日は休業しております。昼食については、海浜幕張駅周辺の店舗で調達いただくなど、各自ご持参ください（お弁当の申し込みは、5月31日で締め切りました）。

ご持参なされた昼食は、食堂でお取りいただくことができます。また、休憩スペースを会議棟C23、C24会議室に設けますので、こちらもあわせてご利用ください。なお、今回は休憩スペースでは飲み物やお菓子を用意いたしませんので、各自ご持参いただくか、館内の自動販売機をご利用ください。

3. 「図書館ツアー」の開催について

アジア経済研究所図書館は、発展途上国・地域に関する約68万冊の蔵書、新聞・雑誌を擁する世界有数の専門図書館です。大会当日のお昼休みに、専門ライブラリアンが図書館の利用方法を案内する「図書館ツアー」を企画しています。この機会にぜひご参加ください。参加をご希望の方は、出欠アンケートにご記入ください。また、大会当日の受付でもお申し込みできます。

4. 会員総会について

今大会では、会員総会は夕方の懇親会の前に食堂で開催します。会員総会終了後、そのまま引き続いて懇親会を開催します。

5. 報告者へのお願い

当日会場で資料等を配布される場合は、必要部数（最大で50部程度）をコピーのうえご持参願います。なお、当日はコピー機等の利用ができませんのであらかじめご承知おきください。

6. 託児室の設置

5月31日の締め切りまでにお申し込みがありませんでしたので、今回は託児室の設置はございません。

【6月19日（日） 於 幕張国際研修センター】

今回の春季大会では、1日目と2日目の会場が異なります。ただし、両会場は交差点をはさんだ筋向かいにあり、徒歩1～2分の距離です。下記の会場アクセスをご参照ください。

大会2日目には、幕張国際研修センターにて国際シンポジウム（榎山セミナー）、および理事会・評議員会を行います。詳しくは、下記プログラムをご参照ください。

【会場へのアクセス】

1. 6月18日（土）：日本貿易振興機構アジア経済研究所（千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2）

- JR京葉線（東京駅から快速で約30分）

海浜幕張駅：北口から徒歩約10分

- JR総武線

幕張駅：南口から徒歩約20分

幕張本郷駅：海浜幕張駅行きバス約12分→海浜幕張駅から徒歩約10分

- 京成電鉄

京成幕張駅：徒歩約20分

京成幕張本郷駅：海浜幕張駅行きバス約12分→海浜幕張駅から徒歩約10分

2. 6月19日（日）：幕張国際研修センター（千葉市美浜区ひび野1丁目1）

（アジア経済研究所の北西方向の筋向い）

- JR京葉線（東京駅から快速で約30分）
海浜幕張駅：北口から徒歩8分
- JR総武線
幕張駅：南口から徒歩15分
幕張本郷駅：海浜幕張駅行きバス約12分→海浜幕張駅から徒歩8分
- 京成電鉄
京成幕張駅：徒歩15分
京成幕張本郷駅：海浜幕張駅行きバス約12分→海浜幕張駅から徒歩8分

【大会出欠アンケート】

大会に参加される方は、出欠アンケート、もしくはメールでご案内した出欠アンケートでご回答をお願いいたします。回答の締め切りは、6月8日（水）です。

本学会は基本的に一般公開されていますので、非会員の方もご自由にご参加ください。参加をご希望の方は、上記の出欠アンケートのサイトにご回答いただくか、「お名前」「ご所属」「ご連絡先E-mail」「参加希望のセッション名」を明記の上、大会専用メールアドレス：jaas-spring[@]npochanomizu.org（[@]を@に置き換えてください）までお申込みください。

2016年度春季大会プログラム

*以下のプログラムの司会者、報告者、討論者には変更あるいは追加が生じる場合があります。

6月18日（土）

9:00-10:00 受付

10:00/10:30-12:00 自由論題・自由応募分科会

12:00-13:00 昼食・図書館ツアー（12:10-12:30/12:30-12:50）

13:00/13:30-15:00 自由論題・自由応募分科会・企画分科会

15:15/15:45-17:15 自由論題・自由応募分科会

17:30-17:50 会員総会（食堂）

17:50-19:30 懇親会（食堂） 会費：一般4,000円、大学院生3,000円

6月19日（日）

9:00-9:30 受付

9:30-12:30 国際シンポジウム（榎山セミナー）

12:30-13:30 昼食懇親会 会費：2000円

13:30-15:00 理事会・評議員会

6月18日（土）

会場：日本貿易振興機構アジア経済研究所

主催：一般財団法人アジア政経学会

共催：日本貿易振興機構アジア経済研究所

【午前】10:00/10:30-12:00

※開始時刻が自由論題・分科会により異なります。ご注意ください。

自由論題1 「東南・南アジアの政治社会」 10:30-12:00（本館A33教室）

司会兼討論：近藤則夫（アジア経済研究所）

報告1：市岡卓（法政大学大学院博士課程）

「国家によるイスラーム過激主義への対応がムスリム・マイノリティの包摂に及ぼす影響—シンガポールのマレー・ムスリムの事例から—」

報告2：油井美春（広島大学現代インド研究センター特任助教）

「暴動と予防—現代インドにおけるコミュニティ・ポリシング活動の比較分析—」

討論：板谷大世（広島市立大学）

自由論題2 「東・東南アジアの経済」 10:00-12:00（本館A32教室）

司会兼討論：清水一史（九州大学）

報告1：苅込俊二（早稲田大学助手）

「東アジア中所得経済の持続的成長の基盤・条件」

報告2：櫻井宏明（国土交通省）

「東南アジアにおけるODAがFDI、輸出、GDPに与える効果」

報告3：朴根好（静岡大学）

「韓国の輸出指向工業化とベトナム戦争—韓米外交機密文書が語る『隠された真実』—」

討論：小井川広志（関西大学）

討論：梅崎創（アジア経済研究所）

討論：磯崎典世（学習院大学）

自由論題3 「中国の都市と農村」 10:30-12:00（本館A31会議室）

司会兼討論：澤田ゆかり（東京外国語大学）

報告1：王娜（中央大学経済研究所準研究員）

「中国の都市化と工業化の都市・農村所得格差に及ぼす影響—省級パネルデータに基づく実証分析—」

報告2：魏強（山口大学大学院博士課程）

「新型農村合作医療制度実施効果の研究—遼寧省現地調査を中心に—」

討論：日置史郎（東北大学）

自由論題4 「中国の政治と対外関係」 10:30-12:00（会議棟C22会議室）

司会兼討論：青山瑠妙（早稲田大学）

報告1：陳嵩（東京大学交流研究員）

「権威主義国家体制におけるハイポリティクス知識ギャップ形成のメカニズム—中国における尖閣諸島/釣魚島問題を事例として—」

報告2：Nurgaliyeva Lyailya（九州大学大学院博士課程）

「China's multilateral cooperation: transition from the SCO to the New Silk Road」（英語での報告）

討論：高原明生（東京大学）

自由応募分科会1 「文化大革命研究の『問い』の共有に向けて」 10:00-12:00（会議棟C21会議室）

司会：谷川真一（神戸大学）

報告1：楊海英（静岡大学）

「民族自決・自治、そしてジェノサイド—内モンゴルの中国文化大革命—」

報告2：新田順一（慶応義塾大学・北京大学大学院）

「老幹部と文化大革命後の名誉回復」

報告3：谷川真一（神戸大学）

「大衆組織の武装・動員解除、派閥統治、そして抑圧的暴力の拡大—陝西省各県の事例から（1967-1971）—」

討論：金野純（学習院女子大学）

【お昼休み】

アジア経済研究所図書館ツアー（図書館入口集合）

第1回 12:10-12:30

第2回 12:30-12:50

【午後1】 13:00/13:30-15:00

※開始時刻が自由論題・分科会により異なります。ご注意ください。

自由論題5 「台頭する中国の外交」 13:30-15:00（本館A33教室）

司会兼討論：浅野亮（同志社大学）

報告1：李周姫（九州大学大学院博士課程）

「中国外交における経済力：中国-ASEAN自由貿易区の構築を目指して」

報告2：周生升（早稲田大学大学院博士課程）

「台頭中国と南シナ海問題—非対称的關係と『連横』外交から分析する—」

討論：渡辺紫乃（上智大学）

自由論題6 「東南アジアの金融問題」 13:30-15:00（本館A31会議室）

司会：三重野文晴（京都大学）

報告1：相場大樹（一橋大学大学院博士課程DC2）

「カンボジアでの政治的混乱期に発生した大規模な取り付け騒ぎにおける預金者行動の分析」

報告2：奥田英信（一橋大学）

「カンボジア企業の資本構成：ドル化経済における資金調達行動」

討論：塚田和也（アジア経済研究所）

討論：廣畑伸雄（山口大学）

自由応募分科会2 「民主化後のインドネシアにおける政治経済変容」 13:00-15:00（会議棟C21会議室）

司会兼討論：佐藤百合（アジア経済研究所）

報告1：茅根由佳（京都大学東南アジア研究所研究員）

「民主化時代のインドネシアにおけるエネルギー政策をめぐる政治過程」

報告2：増原綾子（亜細亜大学）

「インドネシアにおける国境をめぐる問題」

報告3：新井健一郎（亜細亜大学）・三村豊（総合地球環境学研究所）

「居住環境からみた中間層：インドネシア首都圏の事例」

討論：山本信人（慶応義塾大学）

企画分科会 「台湾・民進党新政権の今後と東アジア」 13:00-15:00（本館A32教室）

（個別報告ではなく、司会とパネリストによる討論形式でおこないます）

司会：若林正文（早稲田大学）

パネリスト：佐藤幸人（アジア経済研究所）、松田康博（東京大学）、松本充豊（京都女子大学）

【午後2】 15:15/15:45-17:15

※開始時刻が自由論題・分科会により異なります。ご注意ください。

自由論題7 「東アジアの産業」 15:15-17:15（本館A31会議室）

司会：渡邊真理子（学習院大学）

報告1：松尾昌宏（桜美林大学）

「コンテナ物流革命と、グローバル発展空間構造の再編」

報告2：江秀華（早稲田大学非常勤講師・招聘研究員）

「東アジアにおけるサービス貿易の展開および労働者の国際移動・直接投資—『台湾・中国のサービス貿易協定』への考察—」

報告3：岸本千佳司（アジア成長研究所）

「台湾半導体ファウンドリの技術能力—柔軟・高効率の生産システム構築—」

討論：熊谷聡（アジア経済研究所）

討論：吉岡英美（熊本大学）

自由論題8 「東・東南アジアの農村」 15:45-17:15（本館A33教室）

司会：寶劔久俊（アジア経済研究所）

報告1：河野正（日本学術振興会特別研究員）

「中華人民共和国初期、河北省における互助組・初級合作社の組織過程—等価互利・余剰労働力を中心に—」

報告2：坂田正三（アジア経済研究所）

「ベトナム農村工業化の系譜」

討論：中兼和津次（東京大学名誉教授）

討論：重富真一（明治学院大学）

自由応募分科会3 「東南アジアの政治的安定—理論と実証—」 15:15-17:15（会議棟C21会議室）

司会：中村正志（アジア経済研究所）

報告1：田中（坂部）有佳子（早稲田大学助手）

「紛争後社会におけるコミットメント問題の発生と回避—東ティモール政治勢力の組織転換に関する事例分析—」

報告2：松本朋子（名古屋大学特任講師）

「民主化後に進む政治参加の拡大とその影響:タイ・タックシン政権を中心に」

報告3：山田紀彦（アジア経済研究所）

「独裁体制の維持と正当性：ラオス国会における国民の支持調達過程」

討論：浅見靖仁（法政大学）

自由応募分科会4 「インド洋をめぐる21世紀の国際政治」 15:15-17:15（本館A32教室）

司会：中溝和弥（京都大学）

報告1：堀本武功（放送大学）

「インド外交におけるインド洋(Indian Ocean in India's Foreign Policy)」

報告2：ルパック・ボラー（日本戦略研究フォーラム）

「中国の『海のシルクロード』構想とインド洋 (The Indian Ocean in China's Maritime Silk Road (MSR) Initiative: India's Catch 22 Situation) 」

報告3：溜和敏（日本学術振興会特別研究員）

「インド太平洋概念の広まりと日印関係への示唆」

討論：竹中千春（立教大学）

【会員総会・懇親会】 17:30~19:30（食堂）

6月19日（日）

会場：幕張国際研修センター

主催：一般財団法人アジア政経学会

共催：公益財団法人榎山奨学財団（国際シンポジウムのみ）

【午前】 9:30-12:30 国際シンポジウム（榎山セミナー） （2階レセプションホール渚）

「中国研究と中国の将来—日欧研究者の対話—」

China Study and the Future of China: Dialogue between European Scholars and Japanese Scholars on China

（日英同時通訳付き/with simultaneous translation）

司会 Moderator : 加茂具樹 (慶應義塾大学) Kamo, Tomoki (Keio University)

報告 Presentations

ドミニク・ミエルゼジェイスキー (ウヅジ大学、ポーランド) Dominik Mierzejewski (University of Lodz)

「中国の対外政策とヨーロッパとの地域協力」 China's foreign policy and Sino-European regional cooperation

ジェーン・デュケット (グラスゴー大学、イギリス) Jane Duckett (University of Glasgow)

「中国の医療制度改革の前に立ちはだかる可視的・不可視的な課題」 Visible and Invisible Challenges for China's Health System Reforms

厳善平 (同志社大学) Yan Shanping (Doshisha University) 「中国の人口と経済」 China's Population and Economy

討論 Comments

バルトーシュ・コワルスキ (ウヅジ大学、ポーランド) Bartosz Kowalski (University of Lodz)

ステファン・モーガン (ノッティンガム大学、イギリス) Stephen Morgan (University of Nottingham)

川島真 (東京大学) Kawashima, Shin (University of Tokyo)

【午後】 12:30-15:00

12:30-13:30 昼食懇親会 (3階シンポジウムホール・ロビー) 会費2000円

13:30-15:00 理事会・評議員会 (理事および評議員のみ) (2階レセプションホール渚)